

【地域未来交付金（第2世代交付金）を活用したブランディング及びプロモーション推進事業】 （令和7年度実施事業（令和8年度への繰越明許分含む））



【交付金を活用した事業の概要】

社会人口・関係人口の増、経済の活性化を目指し、まちに認知度向上、特に若者へのまちの認知度向上を図る。具体的には、まちが持つ強み。魅力を整理したうえでまちのブランドイメージを構築し、積極的な発信を行うことにより移住・定住・関係人口の獲得を図るための多角的なプロモーション施策を展開するもの。



要素事業	事業概要	交付対象事業費 (円)	交付決定額 (円)	実施実施による効果
ブランドイメージの構築に係る事業	【ブランドイメージの構築と発信に向けた基盤作成】 ○ 社会人口の増に向けたアウトタープロモーションの強化に向けた基盤の構築	3,000,000	5,000,000	○ まちの施策、魅力、強みを対外的に訴求するため、町ホームページをアウトタープロモーションの最重要ツールに位置付け、ページのリニューアル、ブランドメッセージ・ロゴの効果的な配置等による構成の転換を実施。 ⇒ 訪問者の直帰率低下や滞在時間の延長に繋がり、まちの魅力PRや移住・定住を検討する層への訴求力が向上した。 ⇒ ブランドメッセージ・ロゴを視覚的に一貫して配置することで、まちのブランドイメージが来訪者に強く定着し、行政への信頼感や親近感の醸成に繋がった。
ブランドイメージの発信に向けた基盤作成に係る事業	○ 町ホームページをアウトタープロモーションの最重要ツールに位置付け、内容の強化・充実を図る。 ○ ブランドイメージ（コンセプト、キービジュアル 等）の発信に向けた各種ツール（ホームページ、SNS）の作成、活用。	7,000,000		○ 「町制施行70周年を」記念し、まちの魅力、歴史等を効果的にPRするためのパンフレットを作成。 ⇒ 「ひと・もの・こと」という多角的な切り口により、町民自身がまちの魅力や歴史を再発見（シビックプライドを醸成）するきっかけとなり、主体的な地域活動への参加促進、転出抑制に寄与することが見込まれる。 ○ 町ホームページとの統一感、利便性の向上を目的とした海田町公式LINEの画面デザインリニューアルを実施。 ⇒ 町が発信する情報全体のブランディング強化、ユーザーの利便性向上に寄与した。 ⇒ 利用者が欲しい情報にアクセスできるようになり、情報の見逃しの軽減に繋がることが期待される。 ○ 町民・事業者等との協働によるタウンミーティングを開催。 ⇒ 行政が進めるまちづくりの過程に町民・事業者等が参画することで、施策の一つひとつが地域ブランドの象徴・成果へ昇華することが期待される。